

長泉さわやかハイク山行報告書

通算山行NO	NO. 93	報告者	天野和子
年月日	2010年10月17日(日)	2万5千	湯ヶ島
山名	天城・青スズ台(1237m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 藪漕度=ない 地図読み度=問題ない 道標=一般道ある 駐車場=ある トイレ=八丁池にある 展望度=青スズ台はよい 三角点名(青スズ台)=八丁池 等級=三等			
久しぶりのノンビリハイキング			
コースとタイム	下土狩発6:10-修善寺-天城トンネル下駐車場発7:50-旧天城トンネル-旧天城峠8:20-向峠9:00-八丁池8:45-青スズ台11:00~12:05-下り御幸歩道-林道-駐車場14:00		
標高差	上り 天城トンネル約650m~青スズ台1237m=約587m 下り //		
参加者	L後藤、津田、大庭、増田真、峰田、堀江、野村、野村京、石和、村上美、鈴木恵、村山、伊藤、伊藤陽、天野 以上15名		

今月の山行は、バス予約が取れず、蛾ヶ岳から天城・青スズ台へと変更になりました。6時10分、農協を出発。参加者15名は、車三台に分乗して天城路をめざした。

途中、道の駅にてトイレ休憩です。さすが天城は涼しいというより肌寒さを感じた。水生地下駐車場に到着。ここで車二台が、この先の氷室園駐車場へ移動し、一台がここに駐車した。各自体操する。久しぶりの方もいて笑顔です。

7時50分、さあー出発！！天城大橋を渡ると、橋下にはわさび田が見えた。葉の色が鮮やかなグリーンでとってもきれい！！

自動車道から山へ入ります。「歩道起終点」の標識から落ち葉を踏みながら階段を上る。辺りの木々は、青々としてすがすがしい。さらに、きつい階段を上ると体が温まってきた。15分程で、旧トンネル(天城山隧道)が見えた。森の中に静かなたたずまいを見せているこのトンネルは、天城峠の始まりである文学「伊豆の踊子」でも有名である。しかも、石造りとしては、日本に現存するものでは、最長(446m)とのこと。また、トンネルの中のレトロな照明もいい感じ！！



旧天城トンネル

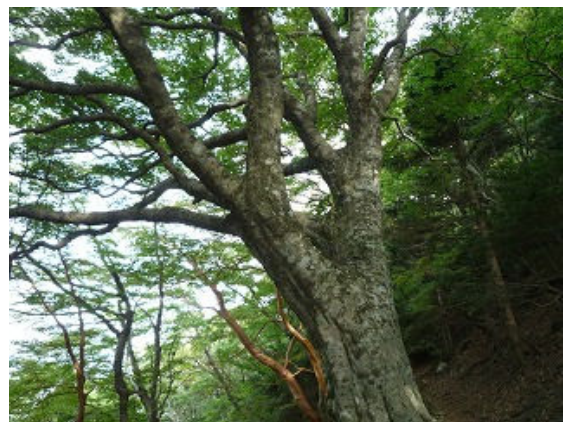
ここからトンネルを抜けて進むと思ったら、横の登山道へ歩きだした。自然林がとてもきれいです。前方に、大きなブナの木が見えてきた。樹齢300年以上ありそうでむき出しの根が伸びすぎて、痛々しく思えた。8時20分、ここが天城峠です。

この辺りまで来ると、汗ばんだ体に涼しい風がこちよく感じた。ここに、ガイドマップと書かれた木箱があり、開けて見たら中は空でした。

この先、八丁池まで5,6kmと書かれた標識があり、小休止をして池を目指した。この辺りから、淡赤褐色の木肌が美しいヒメシャラが数多くあり、品のある小さい葉がとってもきれいで、特に大木のヒメシャラは立派でした。歩きやすい状態なので、辺りの景色を見ながらです。すると今度は、高さのあるアセビが多くありこんなに育つのかと思うほどでした。のんびり歩きで、9時頃、向峠に着いた。



峠の大ブナ



とにかくヒメシャラがすごい！！ また、木肌の色で林の中が明るく感じます。しばらくすると谷側からだいぶ水量がありそうな水音がきこえてきて、わさび田が見えた。また、倒木のブナには（きのこ）がいっぱい生えていて、とても美味しそうに見える。ところがこれは、＜ツキヨダケ＞と言う毒きのこ！！です。食すと下痢・腹痛・嘔吐します。ご注意ください！！

時折、通り道でシカの黒いフンを見つけた。向峠から50分程で、大見分岐点に着いた。汗をかいているので、休むと冷えを感じる。ここまで、出発から約2時間でした。小休止後（10時出発）さらに歩くと、立派なトイレが見えてきた。ここでトイレを済ませ（10時35分出発）ると、池まであと10分足らずです。そして、木々の間から湖面が見えてきた。うわぁーきれい！！

八丁池と言えば、「モリアオガエル」の生息地で有名ですが、1930年、今から80年前、昭和天皇がこの池を訪れた際に利用した登山道を「御幸歩道」として名前を残したそうです。

池は、神秘的な水をたたえていて、空の青さと、静かな湖水を眺めていると、穏やかな気持ちになりました。しばらく「無・・・」で居たかったけれど、居合わせたカップルに記念撮影をしてもらって池を後にした。

野鳥の森の看板を通りすぎて、青スズ台へ向かった。と、すると、後藤講師が知人と出会った。なんと一人で行動していて、裾野から電車とバスを利用して来たとのこ



とです。恐れ入りました。

良い天気の中、足どりも軽やか？です。15分程で、目的地「青スズ台」に到着。ここ青スズ台は、天城でも高い山（1237m）です。他に登山者はいませんでした。ここで昼食です。ふと見上げると、淡いピンク色の「マユミ」が可憐に咲いています。

1時間程休息して12時5分出発。水生地まで下ります。下りは足元に注意しながら歩きました。途中、アセビのトンネルがあり、ここが実に良かった。（花の咲いている時は、きれいだろうなー。）と、思いながら気分良く通り抜けた。

時には、落ち葉を踏み歩くガサコソ・カサカサの音が楽しく聞こえてくる。しばらくすると、アレ！？ハプニング！！ とうやら道を間違えたようです。講師が、「漫然と歩いてはいけない」と笑顔で一言。戻る途中、発見！！それは、6m位あるブナの立ち枯れ木に、100以上あるキノコがびっしりで、これにはビックリでした。



青スズ台

昼食タイム



そして本道に戻って確認し、林道へと出た。ここが水生地 1km 手前である。ここからゲートまで 10 分程で氷室園駐車場に着いた。ここで乗車する人と、下まで歩く人と分かれた。本谷川を左に見ながら歩くと、I さんが「夏にこの川でリバーウォークして、とても楽しかった」と言った。おしゃべりしながら、水生地下駐車場に向かった。2 時頃出発し温泉に向かい汗を流しました。

今回はのんびりとした山行で、また標識がところどころにあるので、距離・時間が目安となった。

天城山は、ブナ・ヒメシャラ・アセビが混生した林で、そのコントラストがとてもきれいな山でした。



タコブナ



天城・八丁池

